

# Marpのtest

themeはデフォで3種類

- theme: default
- theme: gaia
- theme: uncover

cssをカスタムテーマとして使うこともできる(後述)

Ctrl+Shift+P -> markdown toc で目次作成

`# aaa` とかって書くと勝手に目次作ってくれる。

`# aaa<!-- omit in toc -->` って書くと目次から除外

# 目次

- [前提として](#)
- [参照](#)
- [cssのあてかたとか](#)
- [文字](#)
- [cssあてる](#)
  - [aa](#)
- [画像の置き方とか](#)
- [サブタイトル](#)
- [draw.ioとかのSVGをおく](#)

# 前提として

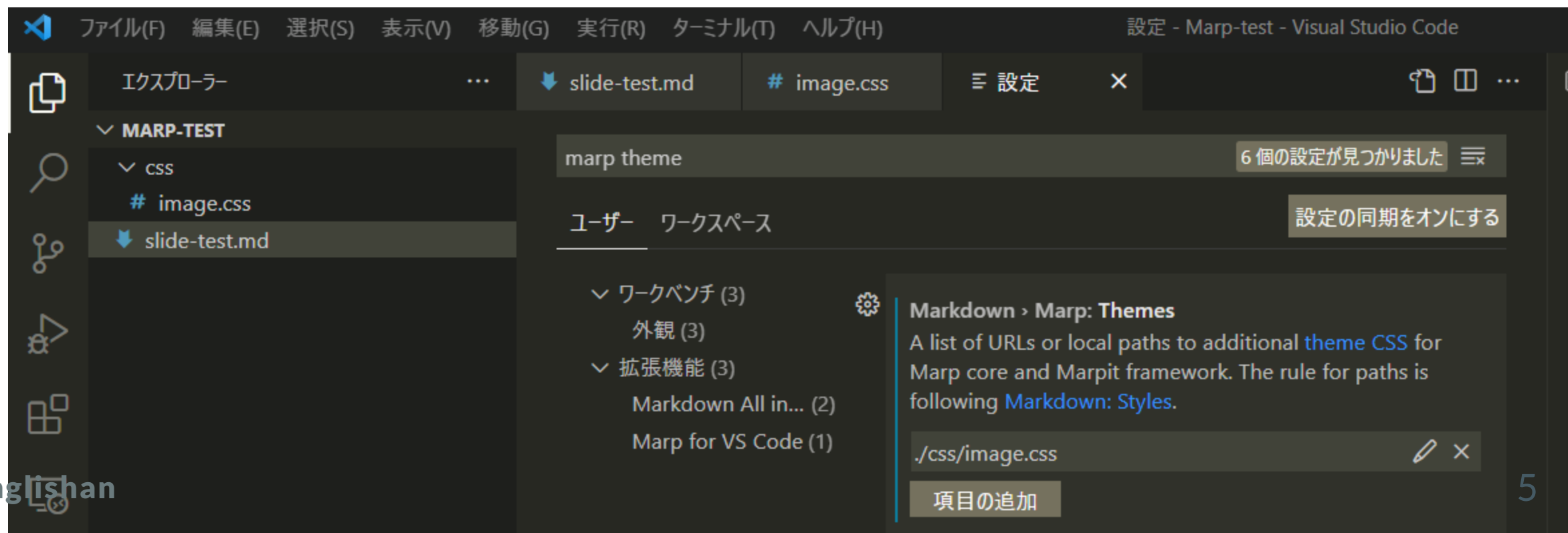
- vscodeのmarp拡張使う
- pptx, pdf にexportは右上のMarpボタン

# 参照

- 絵文字は以下参照  
<https://gist.github.com/spiegel-im-spiegel/66aac732f27ad69cc8b6bd33478ecfa4>
- 以下最強のレファレンス
  - [Qiit 【VS Code + Marp】 Markdownから爆速・自由自在なデザインで、プレゼンスライドを作る](#)
  - [Qiita Marp\(Marpit\)](#)
  - [Qiita \(備忘録\) Marpテンプレート](#)

# cssのあてかたとか

- 左下の管理ボタン ⚙️ → 設定 (Ctrl+,)
- marp theme で検索して css のパス指定でカスタムテーマを追加する  
↓ こんな感じ



# 文字

- 普通に書いて  で区切ると改ページ
- あとは普通のmarkdown的にかけるよ

# cssあてる

- cssファイル用意
- vscodeの設定全ページ
- 本ファイルの先頭にtheme: hoge

見出し1

見出し2

見出し3

見出し4

見出し5

見出し6

**aa**

- 要素1
- 要素2
- 要素3



# パラグラフ

- `<!-- hoge -->` のときは以降すべてのスライドにcssあてる
- `<!-- _hoge -->` のときは該当スライドのみ

## ソースコード等は

```
$hoge = rand(1, 4)
```

# 画像の置き方とか

markdown的に書いたらいい感じになる。  
以降のページを参照

400 x 400

# サブタイトル

- 多分
- こんな感じで
- 右図の説明とかを書く  
list以外も普通にかけるよ

400 x 400

400 x 400

400 x 400

400 x 400

400 x 400



400 x 400

400 x 400

# draw.ioとかのSVG をおく

多分こんな感じで説明入れたり

